

2009.7.19



メンデルスゾーン 生誕200年

Felix Mendelssohn Bartholdy
(1809~1847)

劇音楽「真夏の夜の夢」より
序曲～間奏曲～夜想曲～結婚行進曲

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調

ヴァイオリン独奏：瀧村依里

第77回日本音楽コンクール第1位
市川市文化振興財団第21回新人演奏会オーディション
弦楽器部門最優秀賞

交響曲第5番「宗教改革」

指揮：直井大輔

管弦楽：市川交響楽団
(第1回市川市民芸術文化奨励賞受賞)

2009
平成21年7月19日(日)
午後2時開演
市川市文化会館大ホール

市響ホームページ：<http://www33.ocn.ne.jp/~ichikyo>

主催：市川市 市川交響楽団協会
後援：千葉交響楽団協会
協力：ヤマザキ製パン(株) 全日警

本日のプログラム

〈メンデルスゾーン生誕200年〉

劇音楽「真夏の夜の夢」より 序曲 間奏曲 夜想曲 結婚行進曲
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調

*

交響曲第5番「宗教改革」

指揮 直井 大輔 (なおい・だいすけ)

1971年東京生まれ。市川市内の小・中・高校を卒業し、武蔵野音楽大学音楽学部器楽科でトロンボーンを前田保氏に、バス・トロンボーンを井上順平氏に師事。在学中から指揮者を志し、指揮法を山崎滋、エンリケ・マツォーラの各氏に師事。1993年より巨匠ウラディーミル・フェドセーエフ氏と親交を持ち、指揮の手ほどきやアドバイスを受けている。

1997年、東京芸術大学音楽学部指揮科に入學し、指揮法を佐藤功太郎、小林研一郎、ハンス・マルティン・シュナイトの各氏に師事。同年、新国立劇場オーブニング公演ワーグナー「ローエンゲリン」のアシスタントを務め、以後、二期会オペラ等の副指揮者として佐藤功太郎、若杉弘、岩城宏之、他各氏の下で多くのオペラ製作に携わるとともに、ロジェストヴェンスキイ氏による東京芸大『世界のマエストロを迎えて』シリーズ第1回公演にて、ハイドン「四季」の合唱指導アシスタントを務めた。

全国4つの国公立芸術大学が参加する合同オーケストラ等の公演に3年連続出演、旧奏楽堂『木曜コンサート』にも二度にわたって出演し、指揮者を務めた。

藝大フィルハーモニアによる学内演奏会では、ラヴェル「ダフニスとクロエ第二組曲」を指揮し、小林研一郎氏に『オーケストラから素晴らしい響きを見事に引き出した』と絶賛される。杉木峯夫氏（水戸室内管弦楽団首席奏者、芸大トランペット科教授）の推薦により、大学等地域開放特別事業『吹奏楽を楽しむ』演奏会の指揮者を務め、練習風景からのその模様は、NHKラジオ、新聞、CATV、雑誌などで報じられた。

早川和子氏（現音作曲新人賞審査員長）の新作オペラ「師門物語」で指揮者に抜擢されデビュー。2003年、秋篠宮妃殿下、内親王殿下ご臨席のオーケストラ演奏会で指揮者を務め、2004年には藝大シンフォニカ英國公演に同行。岐阜県指定有形民俗文化財「かしま明治座」にて行われた公演で東京芸大の教授陣と共に演し、その模様は読売新聞日曜版のトップ記事に掲載された。

2004年度、東京芸術大学音楽学部非常勤講師。別府アルゲリッチ音楽祭「子供のための無料コンサート」で金聖響氏と共に演。また附属高校オーケストラの指導でも認められ、2005年度には同大音楽学部附属音楽高校非常勤講師をも務め、定期演奏会でストラヴィン斯基「火の鳥」などを指揮し、大成功をおさめた。

最近では、広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団をはじめとする各地の演奏団体に招かれ、その活動は各方面で好評を博している。千葉市音楽協会会員。



ヴァイオリン・ソロ 瀧村 依里 (たきむら・えり)

1986年、神戸に生まれる。4歳よりヴァイオリンを始める。

2000年、第54回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位、併せて東儀賞、兎束賞、毎日中学生新聞賞、都築音楽賞受賞。いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞、神戸文化ホールフェスティバル2000「はばたけ神戸の若き音楽家たち」にて最優秀賞受賞。2001年、よこすかYBPコンクール弦中学の部第1位、芸術賞受賞。2003年、NHK-FM「名曲リサイタル」出演。2005年、第3回東京音楽コンクール弦楽部門第1位。2006年、第15回ABC新人オーディション合格。2007年、第8回フォーバルスカラップ・ストラディヴァリウスコンクール第1位。1697年製<レインヴィル>を貸与される。2008年、芸大内にて安宅賞受賞。第21回市川市文化財団新人オーディション弦楽部門最優秀賞受賞。第77回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞受賞。

これまでに関西フィル、仙台フィル、東京交響楽団、東京フィル、新日本フィル、芸大フィル、神戸市室内合奏団などと共に演。今後、読売日本交響楽団、セントラル愛知交響楽団、東京シティフィルなどの共演も予定されている。室内楽では、2003年にステラクアルテットを結成し、プロジェクトQ、JTが育てるアンサンブルシリーズ、軽井沢八月祭、芸大室内楽定期など、各地の演奏会、音楽祭に出演。リゾナーレ室内楽セミナーにて、緑の風奨励賞、ハイドン賞受賞。

これまでにヴァイオリンを、村田隆子、木田雅子、ジェラール・ブーレ、岡山潔の各氏に、室内楽を、菅沼準二、岡山潔、松原勝也、山崎伸子の各氏に師事。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、2009年同大学を首席卒業、同時にアカンサス賞受賞。4月より同大学院修士課程にて研鑽を積む。



管弦楽

市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

平成18年に創立55周年を迎えたアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。

メンバーは現在100余名で年齢構成は20代から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。また、著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。

市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに常に積極的な活動を展開している。

フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディは1809年2月にドイツのハンブルグで生まれのユダヤ人で、今年がその生誕200年にあたります。

裕福な銀行家の息子として生まれ、若くして音楽の才能を發揮、少年時代に文豪ゲーテと知り合いだったり、彼のコンサートには学者ヘーゲルや詩人のハイネが聴きにきたりと、その生涯は華々しいものでした。メンデルスゾーンの作るメロディは生き生きとしてセンスのよいものが多く、きっと若かりし頃は「爽やか好青年」だったのでしょう。

また作曲家以外の活動としては、それまでの音楽家は自作の発表をメインに活動していたのですが、メンデルスゾーンは作曲者の死後永く忘れられていた J. S. バッハの「マタイ受難曲」やベートーヴェンの交響曲を再演したり、シューベルトの遺作交響曲「グレート」を発掘・初演したりと、現在の指揮者の活動基盤を作った人でもあります。

彼のお姉さんもピアノ演奏や作曲の才能があったそうで、残念ながら当時は女性が作曲のような創作活動をあまり好意的に考えない風習があり、お姉さんのいくつかの曲は弟の作として出版されたとききました。

38歳という若さでその生涯を終えたというと病弱なイメージがありますが、死の前年までは活動的な人で、良き理解者であった姉の死をきっかけに体調を壊し、直接の死因はクモ膜下出血だったそうです。

メンデルスゾーンほど死後多くの追憶を受けた作曲家はいなかつたのではないかでしょうか。死の3年後ワーグナーはメンデルスゾーンがユダヤ人であることを理由に音楽の芸術性を否定する論文を書き、ナチス・ドイツの時代にヒトラーはメンデルスゾーン銀行を解散させ、マーラーなどとともにユダヤ人作曲家の曲の演奏をすべて禁止させました。芸術に対して今後決してそのような悲劇が起きないことを、そしてメンデルスゾーンの曲が生誕200年を機会にさらに多くの人から愛されることを切に願います。

劇音楽「真夏の夜の夢」より 序曲、間奏曲、夜想曲、結婚行進曲

「17歳の時の曲なんだあ」。別にメンデルスゾーンと張り合う気持ちはこれっぽっちもなかったのですが、私が序曲を始めて聴いた高校生の時、レコードジャケットの解説を読んで、正直とっても大きなショックを感じたのを今でも忘れられません。これがモーツアルトなら決してそう思わなかつたでしょうに。

誤解されては困るのですが、これは決してメンデルスゾーンを軽んじて言っているではありません。当時の私は、素晴らしい芸術や仕事は苦労や障害といった逆境を乗り越え勝ち得るというイメージがあり、その代表格がベートーヴェンであり、天才モーツアルトも幼少の頃から父親にまるで猿回しの猿のようにヨーロッパ中を引き回され、

それによって当時の最先端の音楽に触れることができたわけで、それに対してあまりにも恵まれすぎていたメンデルスゾーンの生き立ちに対する嫉妬のようなものが私の中にあったからなのでしょう。

この序曲は完璧ともいえる構成力と劇中のさまざまな情景や妖精などのキャラクター表現にあふれ、一見意味もなくポッと吹かれる木管楽器の1つの四分音符が無限に広がる不思議な力をもっています。

のちにこの序曲はプロシャ王の知るところとなり、感銘した王は曲を加えて劇用音楽するように命じました。残りの曲はメンデルスゾーン34歳の作です。

「真夏の夜の夢」はシェイクスピアの喜劇で、4人の貴族の男女による相思相愛を含む四角関係を丸く収めようと、いたずら妖精パックが惚れ薬「恋の三色スミレ」をつかつての大騒動劇です。「真夏」といっても原題の“Midsummer”とは夏至のこと、現在ではそれもあって「夏の夜の夢」としばしば訳されています。

2曲目の間奏曲は相思相愛の相手を探す娘ハーミアの様と、続く第3幕に登場し結婚式でおかしな劇中劇を披露する職人たちが登場するシーンの2つの部分からなっています。

続く夜想曲は第3幕の終わりで、4人の男女がパックの人違いにより大騒ぎしたすえ疲れ果てて森で寝てしまうシーンです。パックは改めて惚れ薬を男の瞳にたらします。

最後は第5幕で2組のカップルの結婚式で使われる有名な結婚行進曲。ワーグナーの婚礼の合唱とともに結婚式ではよく聴かれます。ワーグナーのそれは歌劇「ローエン格林」で輝かしく勇猛な第3幕の前奏曲のあとに続く、騎士の高貴さと花嫁の無垢さを現したもので、花婿の白鳥の騎士ローエン格林の花嫁エルザのがはじめて二人きりになるシーンに続くおごそかな曲なのに対し、メンデルスゾーンのこれはファンタジーあふれるこの喜劇にふさわしい明るい曲です。

ヴァイオリン協奏曲 木短調

「この曲の出だしって、モーツアルトの40番に似ていませんか？」先日練習前に当団ヴィオラの重蔵さんにそう問い合わせたらすぐに賛同をいただきました。テンポも共にAllegro moltで心を揺さぶるような八分音符にのってアウフトクトで始まるヴァイオリンのメロディ。始めの5秒を聴けばクラシック音楽ファンでなくとも耳になじんでいるこの2つの名曲に私は不思議なつながりを感じます。

曲は速い—ゆっくり—速いの3つの楽章が中断なく続けられ、第1楽章と第2楽章のブリッジには情熱的な気分の余韻から優美なメロディを引き出すようなファゴットの持続音が、第3楽章の冒頭では独奏ヴァイオリンがそれまでを再び振り返り語り掛けるようなフレーズが挿入されています。

ドイツはライプチヒのゲバントハウス管弦楽団で当時常任指揮者の地位にあったメンデルスゾーンはコンサートマスターのダーヴィトから依頼された曲で、ロンドン公演など多忙な中、6年後35歳のときによく完成、それでもメンデルスゾーンは満足せず翌年に改定、まさに天才メンデルスゾーンの渾身の作です。本日は2005年に出版された新全集の第2版で演奏いたします。

どうぞみなさん、2008年日本音楽コンクールで第1位の栄冠を受けた瀧村依里さんの音楽を存分にお楽しみください。

交響曲第5番「宗教改革」

ユダヤ人はユダヤ教じゃないんだろうか？なんで「宗教改革」なの？っていうのが私の最初の疑問でした。調べてみるとメンデルスゾーンのお父さんはキリスト教に改宗し、バルトルディとはそれを意味するべくお父さんがつけた名字だそうです。メンデルスゾーン自身も敬虔なルター派プロテスタントで、この曲は「マタイ受難曲」（バッハもプロテスタントです）の再演の翌年21歳のときに、アウグスブルク信仰告白300年祭に演奏する目的で書いた2番目の交響

曲です。残念ながら、理由は定かではないのですが、300年祭には演奏されず、出版も遅れ第5番という番号がついています。

第1楽章は厳かなメロディのイントロの中にヴァイオリンによる聖なる上行音型が印象的に現れます。これはプロテスタントの礼拝で使われる「ドレスデン・アーメン」とよばれるもので、ワーグナーも楽劇「パルジファル」で聖杯の動機として使っています。続くテンポの速い部分は威厳があり、決して暴力的でない力強さで、プロテスタントの語源が反抗する、抗議する（プロテスト）であることを思い出させます。第2楽章は打って変わって素朴で楽しげなスケルツォ。ブリューゲルの絵画「農民の踊り」を見るようです。第3楽章は導入曲的な短い楽章です。続く楽章でルター作曲のコラール「神はわがやぐら」を演奏するための夜の祈りのような気分を私は感じます。その第4楽章はまさに宗教改革を讃えるような高貴で威厳のある音楽が次々と展開され、最後は全員合奏で「神はわがやぐら」を高らかに歌い上げます。本日は今年出版された新全集の楽譜で演奏いたします。

本日の出演者

| | | | | |
|--------------------|--|---|--|------------------------------------|
| 【コンサートマスター】 | 永田 匡 立 田 祥子 | 中 村 公一 野 中 能久 溝 田 範子 | 【オーボエ】 | 林 田 朋子 藤 井 茂司 山 内 正晴 |
| 【第1ヴァイオリン】 | 南 達也 石 崎 俊信 石 本 恵理 今 井 東子 上 田 佳津子 | 日 澤 優 福 田 裕子 福 原 耕二 堀 合 麻由美 | 【クラリネット】 | 【トランペット】 |
| | 村 上 葉子 望 月 聖仁 | 福 田 裕子 福 原 耕二 堀 合 麻由美 | 井 垣 貴嗣 一瀬 直美 時 田 雄 | 安 藤 宣明 生 沼 正博 田 崎 真二 |
| | | | 半 藤 翡人 松 村 由美子 八 木 良子 | |
| 【ピオラ】 | 内 田 綾美 大 橋 一郎 亀 井 玲子 鈴 木 薫 秦 一 宜 武 藤 敦子 武 藤 真祐子 | 大 橋 かおる 小 名 康仁 鈴 木 亜矢子 高 野 重樹 奈 良 林 弘子 原 口 博 司 | 【コントラバス】 | 【トロンボーン】 |
| | | | 荒 木 夏 奈 池 田 和 正 上 村 啓 介 神 代 順 子 菊 池 克 彦 小 林 真 弓 | 新 井 恵 美 齊 藤 翼 坂 田 圭 |
| 【第2ヴァイオリン】 | 星 乘 昭 伊 藤 藍 大 村 光子 鎌 田 真貴 佐 分 利 幸江 滝 泽 葉子 時 田 枝里子 富 田 八江子 | 若 林 繁 大 岩 田 理人 倉 泽 倫子 小 松 高 明 佐 藤 千鶴子 | 【ファゴット】 | 【チューバ】 |
| | | | 花 井 さと実 村 上 信乃 | 渡 邊 鉄 雅 |
| | | | | |
| 【チェロ】 | | 【フルート】 | 【ホルン】 | 【打楽器】 |
| | | 大 坂 かおり 木 村 真諭紀 佐 藤 洋 行 篠 原 梨 恵 | 木 下 泰 斗 近 藤 利 昭 潮 見 恵 子 嶋 村 恒 夫 | 都 築 裕 時 田 裕 原 奈良子 春 田 美穂子 |

【 計 計 フルート：竹中 靖さん（享年81歳）

昭和26年市響第一回演奏会から長期に亘りフルートパートの団員として活躍され、中学校美術科の講師を退任後、

数多くのヨーロッパ風景画を制作発表された竹中 靖さんが6月29日に入院先の病院でご逝去されました。

現在も使用されている市響のシンボルマークは市響30周年記念の時に竹中さんがデザインされた作品です。

ご冥福をお祈りいたします。

市響事務局



♪～い ち き ょ う 報～♪

平成21年7月19日

文責 星 乘昭

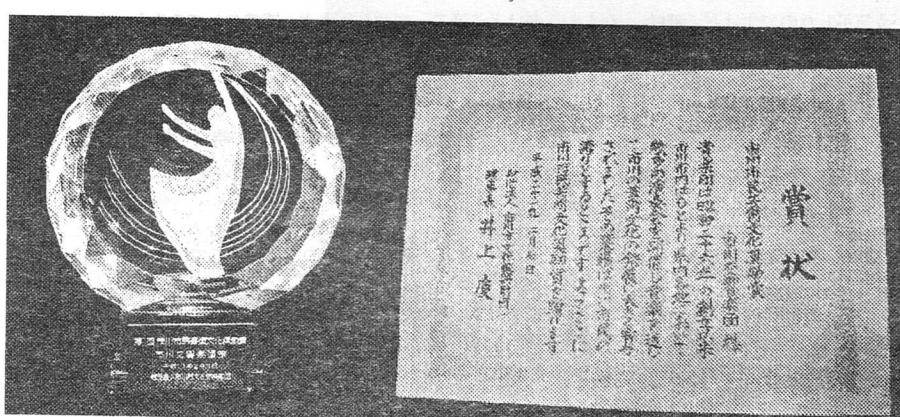
いつも市響の演奏活動にご理解をいただきありがとうございます。

5/5に開催した市響ジュニア定期演奏会には雨天にもかかわらず、子供たちの熱演をご鑑賞いただき誠にありがとうございました。今回の演奏会、7/19 第341回市響「交響楽の午後」は、今年生誕200年を迎えるメンデルスゾーンの作品を特集いたします。有名なヴァイオリン協奏曲には、第77回日本音楽コンクール第1位に輝き今最も注目を浴びている瀧村依里さんをソリストに迎え、市川市出身、在住の直井大輔さんに指揮をお願いしました。また、あまり演奏される事のない隠れた名曲「宗教改革」も聴き物です。本日はご来場くださいまして誠に有難うございました。多くの皆さんが演奏会場へ足を運ぶことから地域音楽文化の芽が育って行きます。引き続きクラシック音楽を通じての地域文化振興活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

このたび市響は市川市民芸術文化奨励賞を受賞しました！

市川交響楽団はこれまでの60年近くにわたる演奏活動と、今後の永続的な展開を期待され、市民の推薦による市川市民芸術文化奨励賞を受賞いたしました。

これまでの皆様方の応援に心より感謝申し上げます。



<受賞記念品・奨励賞賞状>

ヴァイオリニスト・瀧村依里さん 指揮者直井大輔氏にインタビュー



本番を1週間後に控えた7月11日、練習場所の勤労福祉センターでソリスト瀧村依里さんをお迎えして初めてのソロ合わせがありました。協奏曲の練習後にインタビューさせていただきました。また、交響曲の練習終了後は、ロビーにて指揮者の直井大輔さんも快くインタビューに応じていただきました。

その模様をお伝えいたします。

聞き手は、市響コンサートミストレス・立田祥子
市響ヴィオラパート・星乗昭（敬称略）です。

紙面の都合により、詰めて編集させていただきました。

読みにくいとは思いますが、ご容赦下さい。

立田 今日は宜しくお願いします。瀧村 宜しくお願いします。

立田 楽器を借りてらっしゃいますよね。皆さん とても興味があると思うんですが・・・

瀧村 はい。 立田 楽器が変わって・・・今まで弾いていた楽器とタイプが違いましたか？

瀧村 そうですね。はい。立田 私も楽器を買い換えたときに しばらく落ち着かなかったんですけども・・・どれぐらいの期間で慣れました？

瀧村 そうですね、どういうところまできたら慣れたっていえるかどうかわからないのですけどもえ、どれくらいだろう‥‥？でも、今もまだどんどん仲良くなり続けている最中なのですけど‥‥

立田 どれくらい経ちましたか？ 瀧村 もう1年半以上経ちました。 立田 （楽器が代わると）弾き方とかやっぱり変わりましたか？

瀧村 そうですね。いい楽器だとやっぱり楽に弾けるというか、自分の思ったことが反映されやすいというか、とても弾きやすいです。

立田 なんだかとても失礼な言い方なのですが、市川新入オーディションの時の演奏よりも曲によるのでしょうかけど、自分の音楽をどう弾きたい‥‥とかの主張があるような気が今日はしたのですけれども。

瀧村 あ、そうですか？ 立田 あの時は先入観無しに聴いていたんですけども、たまたま私の知り合いのチエロの方が受けて予期しないで聞いて勉強されて弾かれたということを‥‥ 瀧村 新聞ですか？ 立田 ええ、新聞に載っていたんです。

瀧村 毎日新聞ですか？あのコンクールの？ 立田 ええ、若い人には珍しく、相當に調べて知り尽くして演奏した‥‥みたいなことが書いてあって‥‥

瀧村 いや、そんなことないですよ。あのブラームスは、何度も失敗を繰り返しながら作っていったので、はい、勉強したというよりは、失敗から学んで行きました。 星 なんか、楽器は‥‥ストラディバリですか？ 立田 コンクールの副賞みたいな感じなんですよね？
(第8回フォーバルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール第1位)

瀧村 そうですね、2年間、今年の10月までなんんですけど。 立田 じゃあ、ぎりぎりですね。 星 え、ストラディバリ？これが？

瀧村 ええ、そうです。 立田 なんという楽器ですか？ 瀧村 レインヴィルっていう‥‥ 立田 レインヴィル？

瀧村 貴婦人の名前なんですけど、とても品がある音なのでそういう名前があるということです。

立田 ああ、上品ですよね。弾き方にもよるのかかも知れませんが。 瀧村 そうですね。割と繊細な音です。 星 ああ、そりや驚いた！

立田 線は細いんだけど遠くに届くのかな、という気がしたのですけど。 瀧村 なんか、音はよく通るって言われます。遠鳴りしてるみたいな。

立田 そうでしょうね。‥‥一番好きな曲は、たとえばコンチェルトだと？

瀧村 メンデルスゾーンの2楽章が一番好きです。他にもいい曲たくさんあるんですけど、自分にとってはメンデルスゾーンの2楽章は特別で、本当に大好きです。 立田 あと、数多くいろんなオーケストラをバックに小さい時、というか中学の時から弾かれてると聞いたんですけど、アマチュアのオーケストラがバックというのは今回初めてですか？

瀧村 いえ、初めて中学3年の時に一緒に弾いていただいたのが千里フィル（千里フィルハーモニア・大阪）と‥‥澤先生が指揮で、 星 ああ、和樹先生ですね‥‥ 瀧村 そうです、それが最初だったので、初めてではないです。

立田 ああ、そうですか。今日、初めての合わせだったので印象といつても難しいかもしれません、市川交響楽団の印象はいかがですか？ 瀧村 最初から協力的にやってくださっていて、もちろん最初もとても弾きやすかったんですけど、2回目にもう一度返したときの変化の仕方というのが、本当に先生が注意される前から私のやりたいことを分かってくださって、1回通しただけで、次にやるときには全然違うつけかたをしてくださって、とても弾きやすかったです。

立田 そうですか！きっと、(団員にとって)励みになりますね！ 瀧村 こちらこそありがとうございました。

星 ヴァイオリンを習うきっかけというのは‥‥？

瀧村 もう亡くなつたんですが、祖父が多趣味で、絵を描いたり本を読んだり、あと、大人になってからヴァイオリンを弾いていたらしくて、ヴァイオリンが家にあって、おじいちゃんっ子だったのでまず最初におじいちゃんに習いたいと言つたら、親も遊びで、というかおじいちゃんに習うんだつたらということでやつたらって言ったんですが、おじいちゃんは、「とんでもない、習うんだつたらちゃんと先生につけてあげなさい」と言ってくれて、習ったのが始まりです。

立田 では、将来‥‥先生になりたいとか、どういう演奏家になりたいとか将来の夢というのは持つてらっしゃるのでしょうか？

瀧村 そうですね。もちろんソロを弾くのも好きなんんですけど、アンサンブルをするのがとても好きなので、オーケストラの中で弾くのも好きですし、もっと小さい弦楽四重奏だったり、もっと少ない人数での室内楽も大好きなので、どちらもやっていけたらいいな、と思います。それと、小さいときに習つてた先生も本当にすばらしいですし、芸大で本当にいろんな先生に素晴らしい教育を受けさせていただいているので、いつかそれがちゃんと理解できたころにはそれをまた伝えていけたいな、と思いますが、それはまだまだ先かな、と思います。

立田 あと、皆はなかなか体験できないことなのですけど、コンクールを受けるときの弾き方なんているのは何がありますか？

瀧村 そうですね、今まで受けてきたコンクールはどれもその時の課題曲に惹かれて受けたコンクールばかりで、大学1年の時の東京音楽コンクールは本選の課題曲がメンデルスゾーンだったので受けて、スラディバリウスコンクールっていうのは、本選は割と選べたんですけど、真ん中にバッハのソナタの1番と、グリーグのソナタがあって、それが好きで受けて、それでこの間のコンクール（日本音楽コンクール）は完全にブラームスの協奏曲が目当てでというか大好きで受けて‥‥だから特にコンクールだからこう弾こうっていうのはなくて、その曲が好きで、その曲にちょっとでも近づけるような表現ができるらしいな、と思いながら勉強しています。

立田 弾きながら「今回やったかも？」みたいな実感はありましたか？

瀧村 そうですね、去年の音コンのときは舞台の上で「ああ、失敗した」っていうのがいっぱいあったんですけど、でも、なんか割

りと悔いがなかったので、結果発表は「もう出るよ」と言われても「ああ、いいや」みたいな感じでずっと楽屋にいたので
結果というよりも、自分にとってその演奏がどうだったかっていうことが一番大きいですね。

星 1位になられてから、プロのオーケストラから（のオファー）とか、まわりも変わったでしょう？お忙しくてね。

瀧村 そうですね。いろいろ機会はいただけたようになったんですけど、星 お忙しいでしょう 立田 学校との両立が大変ですよね。

瀧村 そうですね。立田 まだ（日本音楽コンクールに）受かられたときは4年生で… 瀧村 そうです。立田 卒業とか入試とか…

瀧村 そうですね。入試は予選の時期とかぶってて、それは勉強がきびしかったです。

立田 そうですか……。今日は本当にありがとうございました。本番も宜しくお願ひします。

瀧村 こちらこそ宜しくお願ひします。



直井大輔先生

～瀧村さんのインタビューの後、メインの宗教改革の練習が行われました。練習後、今度は指揮者の直井大輔先生にいろいろお話を伺うことができました。～ 聞き手に、市響チェロパート・倉澤倫子さんが加わります。（敬称略）

直井 宜しくお願ひします…音楽以外のことでお願いします。ハハハ… 立田 いつも、シールとか貼って…（普段持ち歩いてらっしゃるスーツケースには沖縄のステッカーがいっぱい貼ってある）直井 はは。立田 それとブログを読むと、靴にすごくこだわってらっしゃるとか…。きっかけとか…あと、サッカーもされるとか…いろいろあるんですよね、きっと。星 サッカー？

直井 あ、サッカーします。倉澤 指揮者の方って、普通はTシャツとか、ポロシャツとか、ワイシャツでいらっしゃるのに、一番最初からゲーシャツ（サッカーのユニフォーム）だったので、すごいびっくりして、で、どこのチームのファンなのかな、とかご自分でやってらっしゃるのかな？ってきましたかったんですけど。直井 あ、フットサルはやってます。倉澤 定期的に？直井 はい。最近はご無沙汰なんですが

倉澤 チームとかがあるって？直井 はい、一時期作って… 倉澤 自分がお好きなチームとかもあるんですか？直井 ミーハーなので、レアルマドリードとか、バルセロナとか有名なチームが… 倉澤 じゃあ、今日着てらっしゃるのが、シーメンスとかあるのが…（シーメンス社＝レアルマドリードのスポンサー会社）直井 今日はレアルマドリードですね。倉澤 ああ、そうだったんですね。どこのファンかが聞きたかったんで直井 僕は、はまるとそればっかりになっちゃうんですよ。で、新しい趣味が見つかるまで、こればっかり一ってなっちゃうんで。

立田 私の個人的印象として、「指揮者」っていうイメージからちょっと…珍しいっていうか。直井 アウトローな？立田 あはは。じゃあまともな質問です。先生は市川ご出身ですか？直井 はい、そうです。幼稚園の頃から。立田 この間、私、市川五中で演奏してきました。

直井 ホントですか？母校です。母校。立田 確か、五中の先生がいるんです。メンコン担当のティンパニに…直井 ああ、そうですか。

立田 ご自分の地元のオーケストラを振ったのは？直井 初めてですね… 立田 ジュニアは？直井 ジュニアは、本番は山崎先生が振ってらっしゃるので、練習でよばれたりは何度かしてたんですけど。立田 何か、思い入れみたいなのは…地元だから、っていう気負いみたいのはありますか？直井 姉の知り合いとか結構いらっしゃるので、下手なことできないなっていうのはありますね。

立田 本番 やっぱり聴きにいらっしゃる…？直井 はい。立田 意外とプレッシャーですか？直井 ハハハ！

立田（逆に）自分の勇姿を見せる という感じじゃないのですか？直井 はは。間違ったらどうしよう、みたいな。倉澤 お姉さん有名人なんですか？直井 いやいや、主婦です。一同 アハハ。直井 依里ちゃん（瀧村）も、芸高の教え子なんです。

星 今回のプログラム、どう思われますか？直井 いいですねえ。さすが！立田 でも、先生はトロンボーンご出身だから「出番少ないぞ」みたいな…

直井 はは、いやいや、宗教改革って、トロンボーンは教会の楽器なので、星 和音で…響きでね。オルガンの役目で、

直井 そうそう。立田 まだ終わってないのにお聞きするのはなんですが、市響のこのサウンドだと、もし、次回もう一度振るんだったらこんな曲やりたいな、っていう曲はありますか？直井 ショスタコービッチですね。立田 何番ですか？

直井 10番が好きで、ちょっと長くてでっかいんですけど。立田 どうして市響で10番ですか？

直井 ほどよくヘヴィーさもあって、ヘヴィーだけじゃなくて、バランスもあるし、バランスがいいんですね…9時のチャイム ピヘンボヘン…

星 ちょうど時間になりました。一同 ありがとうございました。

～インターネットのBlogに直井先生の楽しいお話を掲載されていましたのでご紹介いたします。～

＜ニックネーム＞ 「棒振りすと大輔」 「サッカー好きな、音を出さない演奏家」

＜嬉しい再会＞

武藏野音大でトランペットを専攻していた愛媛出身の同期が、いま松山の中学校で教員をしているという話を聞き、その話を伺いながら、彼のことを懐かしく思い返していたら、なんと昨日、リハーサル＆飲み会に遊びに来てくれました！リハーサルが終ったあと、楽屋で着替えていると、ドアをノックして入ってきたのは、昔の面影を残すどころか、当時と変わらないままの彼でした！

15年以上ぶりの再会。本当に懐かしくて嬉しかった！武藏野音大をフェードアウト的に離れていた僕は、きっと9割ぐらいの同期からは、今どこで何してるのか分からぬと思われているはずです。僕自身も、今どうしているのか分からぬ昔の仲間たちが

たくさんいるので、こうした再会は本当に嬉しいです。先週も、広響の首席で弾いている芸大の同期と8年ぶりぐらいに会ったり、以前、広響に何度もエキストラで乗っていたトロンボーンの方が、実は市川のジュニアオケと一緒に吹いていた子で、10数年ぶりに電話で話したり、また、そのジュニアオケでチェロを弾いていた高校のときの同期が、来月の市響に乗ってくれることになり、ほとんど20年ぶりぐらいに会ったり、不思議なぐらい、懐かしい方々との再会が続いている。



主催：東洋大学音楽部

★ 立田 桧子 1. 2楽章

今回はバイオリンを弾く人にとって憧れの曲でもあり 学生向けの協奏曲を終えた人のほとんどが かじったことのある協奏曲ということで団内で各楽章毎に代ソロを公募しました。実は 思いつけて手を挙げてくださった方の他にも 全曲をオーケストラバックに弾いた方などもいて 「市響は人材豊富だ」と改めて 感心してしまいました。ソロを知って伴奏をするという経験は とても大事なことで 思いつけて弾いて下さった方たちはどこでオーケストラが引っ込んでソロをたてればいいか・・・どんな音色で伴奏して欲しいか等 その経験を生かして 更にステップアップされたことでしょう。



★ 大橋一郎 1楽章

「団員の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、貴重な経験が出来、大変感謝しています」



★ 上田佳津子 2. 3楽章

「何度弾いても弾けるようにならない曲でしたが、何度弾いても飽きない曲です。皆様ありがとうございました」



★ 石崎 俊信 1楽章

初回の練習で1楽章と2楽章を担当させて頂きました。

1楽章は暗譜で臨みましたが、緊張から暗譜が出て来ず途中何度かソロが落ちたり、テンポをゆっくり目に弾こうとして間延びしてしまったりと家で練習した時の半分も弾けませんでしたがとても良い経験になりました。



★ 世川 勇先生

今回の演奏会のすべての曲のトレーナーとしてご指導をうけました。曲を仕上げていくうえで、的確なご指示を有難うございました。